

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ゆにこ青地		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 20日		～ 2026年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2026年 2月 5日		～ 2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	いろんな職種経験のある職員集団で支援している。	成人期の障害者支援を始め、保育士や看護師など色んな職種経験者で支援しているため、いろんな視点での意見交換を行っている。	支援の質の向上のため、職員の研修機会を積極的に設けていきたい。
2	体験を重視し、色んな活動を設定している。	生活に関わること(クッキングや買い物)、外出行事、季節行事、創作活動など活動の偏りが無い様に毎月設定している。地域交流も図っており、年に2回自治会に案内を配布しておもてなしを行っている。	利用者の余暇活動充実に向けて、長期休暇等で放課後では設定できない活動を取り入れていきたい。
3	年齢や障害種別に関係なく受け入れている。	小学校1年生から高校3年生までが対象で、障害種別で分けることなく幅広く受け入れ、集団の中で色んな刺激を受けられるように散らしてグループなど作らずに過ごせるようにしている。	環境面では安全対策をしっかり行い、支援の面では知識や技術の質を上げていくことを考えている。そのための研修や学習を日常的に取り入れたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動の難しさがある。	色んな子どもたちが利用しているため、一つの活動にみんなまで参加する難しさがある。	部分的な参加であっても、各々の特性など見極めながらしっかりと評価していくことを大事にしたい。時間をかけながらじっくりと集団の良さを感じていけるように支援していきたい。
2	個別対応が必要な利用者への対応が難しい。	個別対応が必要な利用者がいても、人間的にも環境的にも厳しい状況がある。	利用者のアセスメントを念頭に、今ある資源(人員、環境)でどう体制を作るか考えられる職員集団を作っていくことが必要。
3	砂利駐車場のため、怪我や送迎車両破損リスクが高い。	転倒による怪我や送迎車のタイヤパンクの要因などを把握しているが、解決に向けては資金等理由があり対応できない。	怪我対策は、職員配置の仕方などで乗り切っている。パンクリスクは、大きいものや尖った石を定期的に避けるなどの対策を行う。